

保育所待機児童数等について

平成 21 年 8 月に、新たに認可保育所 1 か所を開設し、60 人の定員増を行いました。
 平成 21 年 10 月 1 日現在の待機児童数は、前年比 800 人増の 2,414 人となりました。

1 入所待機状況

単位：人

区分	21年10月	21年4月	20年10月	20年4月
保育所申込者数 (A)	43,509	39,948	40,772	36,573
入所児童数 (B)	38,085	36,652	36,491	34,249
入所保留児童数 (C) = (A) - (B)	5,424	3,296	4,281	2,324
横浜保育室等入所数 (D)	1,321	963	1,045	683
横浜保育室	1,275	935	996	653
家庭保育福祉員	31	22	29	17
幼稚園預かり保育	15	6	20	13
特定保育園のみの申込者など (E)	1,689	1,043	1,622	934
待機児童数 (C) - (D) - (E)	2,414	1,290	1,614	707

2 待機児童の状況

(1) 年齢別の状況

- 年齢別で、待機児童数が最も多いのは1歳児の935人、次いで2歳児558人、0歳児417人となっています。
- 前年比では、全ての年齢で増加しており、中でも1歳児が最も多く335人、続いて0歳児が186人、3歳児が125人の増加となっています。

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
21年10月 (A)	417	935	558	350	122	32	2,414
21年4月	143	693	292	125	28	9	1,290
20年10月 (B)	231	600	441	225	87	30	1,614
20年4月	49	342	190	100	20	6	707
増減(A-B)	186	335	117	125	35	2	800

(2) 区別待機児童の状況

- 待機児童が一番多い区は港北区で306人、反対に一番少ない区は栄区で42人となっています。
- 前年と比較して待機児童が減少したのは、金沢区のみで4人減となっています。西区は前年と同数で45人となっています。
- その他の区では待機児童が増加しており、最も増加した区は港北区で142人増、続いて緑区の84人増となっています。

平成21年度 保育所の待機状況 —平成20年度との比較—

区名	平成21年10月1日現在				平成20年10月1日現在				待機児童 前年比 (人)	備考
	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機児童 総数 (人)	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機児童 総数 (人)		
鶴見	28	2,926	3,051	242	27	2,783	2,921	159	83	
神奈川	24	2,243	2,387	173	22	2,121	2,249	109	64	
西	11	777	724	45	11	777	694	45	0	
中	13	998	1,085	88	13	998	1,067	79	9	
南	20	1,674	1,745	86	20	1,679	1,727	59	27	
港南	28	2,489	2,607	157	27	2,399	2,500	115	42	
保土ヶ谷	24	2,102	2,114	102	23	2,074	2,061	80	22	
旭	24	2,272	2,360	110	23	2,182	2,212	56	54	
磯子	19	1,669	1,696	97	19	1,650	1,676	53	44	
金沢	26	2,173	2,345	132	24	2,047	2,247	136	-4	
港北	38	3,325	3,389	306	36	3,231	3,233	164	142	
緑	26	1,999	2,087	200	23	1,841	1,988	116	84	
青葉	33	2,870	2,838	141	33	2,879	2,776	76	65	
都筑	26	2,362	2,382	148	25	2,302	2,272	70	78	H21.8.1 中川小桜 児童園(60名)開所
戸塚	31	2,692	2,763	180	30	2,491	2,586	150	30	
栄	11	1,146	1,250	42	9	1,026	1,127	27	15	
泉	24	2,182	2,233	100	23	2,126	2,184	76	24	
瀬谷	15	1,032	1,029	65	14	996	971	44	21	
計	421	36,931	38,085	2,414	402	36,602	36,491	1,614	800	

3. 保育所の空き状況

(1) 空き定員の生じている園の箇所数及び空き定員数

	H. 21. 10. 1 (A)			H. 21. 4. 1 (B)			差引 (A-B)		
	計	内訳		計	内訳		計	内訳	
		新設園	その他		新設園	その他		新設園	その他
箇所数	115園	25園	90園	185園	27園	158園	▲ 70園	▲ 2園	▲ 68園
空き定員数	891人	195人	696人	1,503人	320人	1,183人	▲ 612人	▲ 125人	▲ 487人
内訳	乳児	▲ 25人	101人	503人	14人	489人	▲ 427人	▲ 39人	▲ 388人
	幼児	815人	220人	595人	1,000人	306人	▲ 185人	▲ 86人	▲ 99人

※乳児は0～1歳、幼児は2～5歳

※新設園は、平成20年4月1日以降に認可された園

(2) 空き定員数ごとの分布

空き定員数 (=定員-入所者数)	H21. 10. 1						H21. 4. 1					
	箇所数			空き定員数			箇所数			空き定員数		
	計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳	
新設園		その他	新設園		その他	新設園		その他	新設園		その他	
1～5人	65園	12園	53園	168人	37人	131人	111園	6園	105園	237人	18人	219人
6～10人	24園	6園	18園	190人	48人	142人	27園	10園	17園	219人	81人	138人
11～15人	10園	4園	6園	130人	50人	80人	15園	2園	13園	194人	24人	170人
16～20人	10園	2園	8園	176人	37人	139人	16園	4園	12園	290人	66人	224人
21人以上	6園	1園	5園	227人	23人	204人	16園	5園	11園	563人	131人	432人
計	115園	25園	90園	891人	195人	696人	185園	27園	158園	1,503人	320人	1,183人

※新設園は、平成20年4月1日以降に認可された園

(3) 空き定員の分析

- 10人以下の空きがある園は、空きがある園全体の約77%を占め、人数は358人。
反面、11人以上の空きがあるは、空きがある園全体の約23%で、人数は533人。
- 待機児童の多い乳児においては、定員に空きがある園でも、乳児定員を超えて受け入れている。
- 20年4月1日以降開所の新設園では、持ち上がりの児童が少なく幼児で空きが多く出ている。
- 既存園については、以下の理由などにより定員に空きがある。
 - ① 定員の大幅拡大を行ったことにより、新設園と同様に幼児で定員に空きが生じている
 - ② 近く閉園を予定しているため低年齢児の受け入れを行っていない
 - ③ 開所時間が短かったり、受け入れ年齢が2歳からなど、利用者のニーズに合わない
 - ④ 駅から遠かったり、高台にあるなど、交通の便が悪い
 - ⑤ 過去に大規模開発した地区にあり、現在は子どもが減少している
 - ⑥ 4月からあまり変わらずに、多数の空き定員が生じている園がある。